

様式1

教科用図書第3採択地区調査委員会

(外国語) 小委員会委員長

黒川 貴功



<p>調査研究 ・ 審議の経過</p>	<p>1 審議の対象となった発行者名および数 ・東京書籍、開隆堂、三省堂、教育出版、光村図書、啓林館の6者</p> <p>2 調査研究の手順 ・第1回調査委員会（7月5日）で6者の教科書を配布し、調査の観点や手順を協議した。 ・第2回調査委員会（8月3日、4日）に、全体を通して各者の特徴をまとめ、様式2～6を作成した。</p> <p>3 調査研究のための観点、項目 ・取扱内容については、学習指導要領の総則及び、各教科、各学年の目標、内容等に基づいて取り上げられているか、知識及び技能の活用、思考力、判断力、表現力等及び学びに向かう力、人間性等の発揮による資質・能力の育成に対応できるよう、主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習内容、発展的な学習内容などがどのように取り扱われているかという視点で調査整理した。 ・内容の構成・排列、分量等については、内容の構成・排列が、地域の実態や学年の発達段階に応じて系統的に組織されているか、また、内容の分量が領域等ごと、全体としてどのようになっているかという視点で調査し、整理した。 ・使用上の配慮等については、児童の学習意欲を高める工夫や自ら課題解決に取り組み、主体的に学習に取り組めるような工夫、使用上の便宜は図られているかという視点で調査し、整理した。</p>
<p>全体を通じての特徴</p>	<p>1 東京書籍については、発音の学習を取り扱う内容が充実しており、また単元を振り返り自分の考えを表現する学習が多く盛り込まれており、優れている。 開隆堂については、世界の文化に目を向ける教材が多く取り上げられ、また4技能5領域で自己評価できるCan-Do listが充実しており、優れている。 三省堂については、日本文化の扱いが多く、身近な題材を通して学ぶ構成となっており、友達との伝え合いなど協働的に学ぶ学習が充実しており、優れている。 教育出版については、単語カードやワークシートなどアウトプット教材が充実し、児童が見通しをもって主体的に学ぶ配慮があり、優れている。 光村図書については、児童の興味・関心を高めるために本文のストーリーをアニメ化し、また、動画によって個別最適な学びが進められるよう配慮があり、優れている。 啓林館については、人種・家族などの多様性を意識した内容になっており、また発音（アクセント）に関する学習が充実しており、優れている。</p> <p>2 そのほか、各者とも、学習全体を見通すために目標（ゴール）や学習の計画を明示し、児童が見通しをもって主体的に学習を進められるよう配慮がされていること、また、UDフォント・UDカラーなど多様な児童への配慮がなされていることの話題が出された。</p>

外国語の目標について

【教科の目標】

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 外国語の音声や文字、語彙、表現、文構造、言語の働きなどについて、日本語と外国語との違いに気付き、これらの知識を理解するとともに、読むこと、書くことに慣れ親しみ、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な技能を身に付けるようにする。
- (2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりするとともに、音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙や基本的な表現を推測しながら読んだり、語順を意識しながら書いたりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力を養う。
- (3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

【学年・領域等の目標など】

[英語の目標]

英語学習の特質を踏まえ、以下に示す、聞くこと、読むこと、話すこと [やり取り]、話すこと [発表]、書くことの五つの領域別に設定する目標の実現を目指した指導を通して、上記の(1)及び(2)に示す資質・能力を一体的に育成するとともに、その過程を通して、上記の(3)に示す資質・能力を育成する。

(1) 聞くこと

- ア ゆっくりはっきりと話されれば、自分のことや身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を聞き取ることができるようにする。
- イ ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、具体的な情報を聞き取ることができるようにする。
- ウ ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、短い話の概要を捉えることができるようにする。

(2) 読むこと

- ア 活字体で書かれた文字を識別し、その読み方を発音することができるようにする。
- イ 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現の意味が分かるようにする。

(3) 話すこと [やり取り]

- ア 基本的な表現を用いて指示、依頼をしたり、それらに応じたりすることができるようにする。
- イ 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うことができるようにする。
- ウ 自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いてその場で質問をしたり質問に答えたりして、伝え合うことができるようにする。

(4) 話すこと [発表]

- ア 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。
- イ 自分のことについて、伝えようとする内容を整理した上で、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。
- ウ 身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。

(5) 書くこと

- ア 大文字、小文字を活字体で書くことができるようにする。また、語順を意識しながら音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写すことができるようにする。
- イ 自分のことや身近で簡単な事柄について、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことができるようにする。

【参考】

○ 目標の改善

高学年の外国語科の目標は、前述のような課題を踏まえ、「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」の三つの資質・能力を明確にした上で、①各学校段階の学びを接続させるとともに、②「外国語を使って何ができるようになるか」を明確にするという観点から改善・充実を図っている。

外国語学習においては、語彙や文法等の個別の知識がどれだけ身に付いたかに主眼が置かれるのではなく、児童生徒の学びの過程全体を通じて、知識・技能が、実際のコミュニケーションにおいて活用され、思考・判断・表現することを繰り返すことを通じて獲得され、学習内容の理解が深まるなど、資質・能力が相互に関係し合いながら育成されることが必要である。

このため、それらの育成を目指す力について、前述のような課題を踏まえつつ、外国語学習の特性を踏まえて「知識及び技能」と「思考力、判断力、表現力等」を一体的に育成するとともに、その過程を通して、「学びに向かう力、人間性等」に示す資質・能力を育成し、小・中・高等学校で一貫した目標を実現するため、そこに至る段階を示すものとして国際的な基準などを参考に、「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと [やり取り]」、「話すこと [発表]」、「書くこと」の五つの領域で英語の目標を設定している。

○ 標準授業時数

第5学年—70 単位時間 第6学年—70 単位時間

様式 3

番号 観点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
	2・東書	第5学年 第6学年	英語・509 英語・510 英語・609	NEW HORIZON Elementary English Course 5 NEW HORIZON Elementary English Course My Picture Dictionary NEW HORIZON Elementary English Course 6
取扱内容（学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等）、内容の構成・排列	<p>○ 「聞くこと」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第5学年～ 好きな教科や食事の注文など、身近で簡単な事柄について、基本的な表現等を聞いて、理解した内容とイラスト等を結び付ける活動 第6学年～ 自己紹介や中学校でしたいことなど、身近で簡単な事柄について、短い会話、イラストなどを参考にしながら聞いて、必要な情報を得る活動</p> <p>○ 「読むこと」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第5学年～ 文字の名前から音を読むことを通して、活字体で書かれた文字の読み方を適切に発音する活動 第6学年～ 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現で書かれた小学校の思い出を伝えるメモなどを読んで、その意味を捉える活動</p> <p>○ 「話すこと [やり取り]」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第5学年～ 誕生日にほしいものや身近な人について互いに紹介するなど、自分の考えや気持ちを伝え合う活動 第6学年～ 行きたい国に係り、訪れたい観光地をたずねたり、そこでできることに答えたりするなど、短い会話をする活動</p> <p>○ 「話すこと [発表]」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第5学年～ 自分のことや自分の暮らす地域のよさに関することなど、身近で簡単な事柄を話す活動 第6学年～ 簡単な語句や基本的な表現を用いて最近の出来事や世界とのつながりについて、自分の考えや気持ちを話す活動</p> <p>○ 「書くこと」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第5学年～ おすすめランチセットなど、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句を書き写す活動 第6学年～ 将来したいことなど、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いた例を参考にして書く活動</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 第5学年～ 単元を見通した学習課題を設定し、おすすめ施設をたずねることや、自分が作ったオリジナルタウンを使って好きな施設を紹介することなどを組み合わせることにより、考えを広げたり深めたりする活動 第6学年～ 単元を見通した学習課題を設定し、飼育員さんが作ったポスターを読むことや、生き物のために身近でできることを発表することなどを組み合わせることにより、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 第5学年～ Unit 7において、日本の場所について聞く活動を通して、表現に慣れ親しんだ後、学んだ表現を使って行きたい都道府県についてやり取りする活動に取り組み、終末の活動で、観光案内CMを発表する活動へ展開するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 第6学年～ Unit 2において、日常生活について聞く活動を通して、表現に慣れ親しんだ後、学んだ表現を使って一日の生活を紹介し合う活動に取り組み、終末の活動で、「週末の過ごし方カード」を書き、発表する活動へ展開するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p>			

使用上の配慮等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「Over the Horizon」(全学年)では、学習内容やテーマをもとに、視野を広げるなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 単元の学習を見通す「Your Plan」(全学年)や、テーマ別の「Check Your Steps」(全学年)を設けるなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 全ての児童にとって、読みやすいフォントとなるよう配慮したり(全学年)、識別しやすい配色を用いたり(全学年)するとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、各単元において、二次元コードを掲載し、歌アニメーションや実写映像を活用できるようにする(全学年)など、使用上の便宜が図られている。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習者用デジタル教科書では、音声の再生や紙面の拡大表示などの機能を有している。

様式 3

番号 観点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
	9・開隆堂	第5学年 第6学年	英語・511 英語・512 英語・611 英語・612	Junior Sunshine 5 Junior Sunshine 5 Word Book Junior Sunshine 6 Junior Sunshine 6 Word Book
取扱内容 （学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等） 、内容の構成・排列	<p>○ 「聞くこと」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第5学年～ 好きなものや町にある場所など、身近で簡単な事柄について、基本的な表現等を聞いて、理解した内容とイラスト等を結び付ける活動 第6学年～ 自己紹介やつきたい職業など、身近で簡単な事柄について、短い会話等をイラストなどを参考にしながら聞いて、必要な情報を得る活動</p> <p>○ 「読むこと」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第5学年～ 音声で慣れ親しんだ英語を文字で結び付けることを通して、活字体で書かれた文字の読み方を適切に発音する活動 第6学年～ 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現で書かれた旅行会社のウェブページなどを読んで、その意味を捉える活動</p> <p>○ 「話すこと [やり取り]」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第5学年～ 好きな教科や身近な人のできることについて互いに紹介するなど、自分の考えや気持ちを伝え合う活動 第6学年～ 行きたい国に係り、そこでしたいことをたずねたり、「行きたい国クイズ」に答えたりするなど、短い会話をする活動</p> <p>○ 「話すこと [発表]」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第5学年～ 自分ができること、できないことや、自分の注文したいものに関することなど、身近で簡単な事柄を話す活動 第6学年～ 簡単な語句や基本的な表現を用いて夏休みの思い出や中学校でしたいことについて、自分の考えや気持ちを話す活動</p> <p>○ 「書くこと」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第5学年～ 自分の特別な日など、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句を書き写す活動 第6学年～ 小学校生活の一番の思い出など、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いた例を参考にして書く活動</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 第5学年～ 単元を見通した学習課題を設定し、お気に入りの場所をたずねることや、自分が作ったマイタウンのお気に入りの場所を紹介することなどを組み合わせることにより、考えを広げたり深めたりする活動 第6学年～ 単元を見通した学習課題を設定し、日常生活での行動について聞くことや、理想の日曜日のスケジュールについて伝え合うことなどを組み合わせることにより、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 第5学年～ Lesson 8において、様々な動作の言い方について聞く活動を通して、表現に慣れ親しんだ後、学んだ表現を使って自分のヒーローについてやり取りする活動に取り組み、終末の活動で、「ヒーロー図鑑」を書く活動へ展開するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 第6学年～ Lesson 6において、学校行事の言い方について聞く活動を通して、表現に慣れ親しんだ後、学んだ表現を使って小学校生活の思い出を伝え合う活動に取り組み、終末の活動で、小学校生活の思い出を発表し、思い出アルバムを作る活</p>			

	動へ展開するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫
使用上の配慮等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「StoryTime」(全学年)では、これまで学習した表現や語句を用いた短い読み物を掲載するなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 1年間の学習を見通す導入ページ(全学年)や、巻末の「CAN-DOチェック」(全学年)を設けるなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 全ての児童にとって、読みやすいフォントとなるよう配慮したり(全学年)、識別しやすい配色を用いたり(全学年)するとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、各単元において、二次元コードを掲載し、音声やクイズを活用できるようにする(全学年)など、使用上の便宜が図られている。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習者用デジタル教科書では、本文の読み上げや紙面の拡大表示などの機能を有している。

様式 3

番号 観点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
	15・三省堂	第5学年 第6学年	英語・513 英語・514 英語・613	CROWN Jr. 5 CROWN Jr. My Dictionary CROWN Jr. 6
取扱内容（学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等）、内容の構成・排列	<p>○ 「聞くこと」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第5学年～ 誕生日や行きたい国など、身近で簡単な事柄について、基本的な表現等を聞いて、理解した内容とイラスト等を結び付ける活動 第6学年～ 好きなスポーツや職業など、身近で簡単な事柄について、短い会話等をイラストなどを参考にしながら聞いて、必要な情報を得る活動</p> <p>○ 「読むこと」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第5学年～ 文字と音のつながりを学ぶことを通して、活字体で書かれた文字の読み方を適切に発音する活動 第6学年～ 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現で書かれた6年生の思い出などを読んで、その意味を捉える活動</p> <p>○ 「話すこと [やり取り]」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第5学年～ 好きな教科や地域の魅力について互いに紹介するなど、自分の考えや気持ちを伝え合う活動 第6学年～ 夏休みに係り、行った場所をたずねたり、楽しんだことに答えたりするなど、短い会話をする活動</p> <p>○ 「話すこと [発表]」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第5学年～ 得意なことや自分たちの地域に関することなど、身近で簡単な事柄を話す活動 第6学年～ 簡単な語句や基本的な表現を用いて修学旅行や校外学習の思い出や将来つきたい職業について、自分の考えや気持ちを話す活動</p> <p>○ 「書くこと」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第5学年～ ふだん日曜日にするなど、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句を書き写す活動 第6学年～ 希望の職業についたらしたいことなど、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いた例を参考にして書く活動</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 第5学年～ 単元を見通した学習課題を設定し、行きたい国をたずねることや、パノラマを見ながら、行きたい場所とそこでしたいことを伝え合うことなどを組み合わせることにより、考えを広げたり深めたりする活動 第6学年～ 単元を見通した学習課題を設定し、中学校で力を入れたい教科や入りたい部活動について聞くことや、どんな中学校生活を送りたいか伝え合うことなどを組み合わせることにより、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 第5学年～ Lesson 5において、人物紹介について聞く活動を通して、表現に慣れ親しんだ後、学んだ表現を使って得意なことについてやり取りする活動に取り組み、終末の活動で、憧れの人を紹介して、その人の素晴らしさを知ってもらう活動へ展開するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 第6学年～ Lesson 5において、小学校の行事について聞く活動を通して、表現に慣れ親しんだ後、学んだ表現を使って小学校で一番の思い出を伝え合う活動に取り組み、終末の活動で、小学校生活を振り返って、みんなで思い出を共有する活動へ展開するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p>			

<p>使用上の配慮等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「ABCFunBox」(全学年)では、音声で十分に慣れ親しんだ語句を扱い、読むことや書くことの活動を積み重ねるなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ Unit全体の学習を見通す「HOP」(全学年)や、まとめの言語活動を行う「JUMP」(全学年)を設けるなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 全ての児童にとって、読みやすいフォントとなるよう配慮したり(全学年)、識別しやすい配色を用いたり(全学年)するとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、各単元において、二次元コードを掲載し、モデル動画や音声を活用できるようにする(全学年)など、使用上の便宜が図られている。
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習者用デジタル教科書では、機械読み上げ音声や紙面の拡大表示などの機能を有している。

様式3

番号 観 点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
	17・教出	第5学年 第6学年	英語・515 英語・615	ONE WORLD Smiles 5 ONE WORLD Smiles 6
取扱内容〔学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等〕、内容の構成・排列	<p>○ 「聞くこと」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第5学年～ 時間割や行きたい場所など、身近で簡単な事柄について、基本的な表現等を聞いて、理解した内容とイラスト等を結び付ける活動 第6学年～ つきたい職業や中学校の行事など、身近で簡単な事柄について、短い会話等をイラストなどを参考にしながら聞いて、必要な情報を得る活動</p> <p>○ 「読むこと」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第5学年～ 日本語と英語の音の違いに気付かせることを通して、活字体で書かれた文字の読み方を適切に発音する活動 第6学年～ 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現で書かれたクラスの「思い出アルバム」などを読んで、その意味を捉える活動</p> <p>○ 「話すこと〔やり取り〕」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第5学年～ 夢の授業や行ってみたい都道府県について互いに紹介するなど、自分の考えや気持ちを伝え合う活動 第6学年～ 夏休みに係り、絵日記の内容をたずねたり、伝えたい出来事に答えたりするなど、短い会話をする活動</p> <p>○ 「話すこと〔発表〕」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第5学年～ 家での習慣や自分ができることに関することなど、身近で簡単な事柄を話す活動 第6学年～ 簡単な語句や基本的な表現を用いて夏休みにしたことや将来の夢について、自分の考えや気持ちを話す活動</p> <p>○ 「書くこと」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第5学年～ 地図記号ガイドなど、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句を書き写す活動 第6学年～ 中学校でしたいことなど、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いた例を参考にして書く活動</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 第5学年～ 単元を見通した学習課題を設定し、ほしいものをたずねることや、自分で作ったオリジナル・メニューを使ってレストランのロールプレイをすることなどを組み合わせることにより、考えを広げたり深めたりする活動 第6学年～ 単元を見通した学習課題を設定し、行きたい国や地域とそこでできることをたずね合うことや、夢の世界旅行を発表することなどを組み合わせることにより、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 第5学年～ Lesson 9において、人物紹介について聞く活動を通して、表現に慣れ親しんだ後、学んだ表現を使って得意なことについてやり取りする活動に取り組み、終末の活動で、憧れの人について発表する活動へ展開するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 第6学年～ Lesson 4において、日本の食べ物について聞く活動を通して、表現に慣れ親しんだ後、学んだ表現を使って日本の文化を伝え合う活動に取り組み、終末の活動で、日本の行事や文化を紹介するポスターをかき、発表する活動へ展開するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p>			

<p>使用上の配慮等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「Think」(全学年)では、話す内容やコミュニケーションについて気付きや思考を促すなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 学びの見通しが立てやすいロードマップ(全学年)や、各単元の「Lessonをふりかえろう」(全学年)を設けるなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 全ての児童にとって、読みやすいフォントとなるよう配慮したり(全学年)、識別しやすい配色を用いたり(全学年)するとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、各単元において、二次元コードを掲載し、動画やワークシートを活用できるようにする(全学年)など、使用上の便宜が図られている。
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習者用デジタル教科書では、音声の再生や紙面の拡大表示などの機能を有している。

様式 3

番号 観 点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
取扱内容（学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等）、内容の構成・排列	38・光村	第5学年 第6学年	英語・516 英語・616	Here We Go! 5 Here We Go! 6
	<p>○ 「聞くこと」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第5学年～ 誕生日にほしいものや憧れの人など、身近で簡単な事柄について、基本的な表現等を聞いて、理解した内容とイラスト等を結び付ける活動 第6学年～ 1日の生活や思い出の学校行事など、身近で簡単な事柄について、短い会話等をイラストなどを参考にしながら聞いて、必要な情報を得る活動</p> <p>○ 「読むこと」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第5学年～ 大文字と小文字を見て文字の名前を読むことを通して、活字体で書かれた文字の読み方を適切に発音する活動 第6学年～ 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現で書かれた夢宣言などを読んで、その意味を捉える活動</p> <p>○ 「話すこと [やり取り]」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第5学年～ 好きな教科とその理由やオリジナル料理について互いに紹介するなど、自分の考えや気持ちを伝え合う活動 第6学年～ 行きたい国に係り、その理由をたずねたり、その国の魅力に答えたりするなど、短い会話をする活動</p> <p>○ 「話すこと [発表]」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第5学年～ 友だちができることや自分の憧れの人に関することなど、身近で簡単な事柄を話す活動 第6学年～ 簡単な語句や基本的な表現を用いて自己紹介や動物が食べるものについて、自分の考えや気持ちを話す活動</p> <p>○ 「書くこと」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第5学年～ 町の魅力を伝えるパンフレットなど、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句を書き写す活動 第6学年～ 自分の夢宣言など、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いた例を参考にして書く活動</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 第5学年～ 単元を見通した学習課題を設定し、お気に入りの場所をたずねることや、自分が作ったパンフレットを使って町の魅力を伝えることなどを組み合わせることにより、考えを広げたり深めたりする活動 第6学年～ 単元を見通した学習課題を設定し、夏休みにしたことをたずねることや、自分が書いた絵日記を使って夏休みの思い出を発表することなどを組み合わせることにより、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 第5学年～ Unit 6において、店や施設について聞く活動を通して、表現に慣れ親しんだ後、学んだ表現を使って道案内についてやり取りする活動に取り組み、終末の活動で、理想の町について発表する活動へ展開するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 第6学年～ Unit 2において、日本の行事について聞く活動を通して、表現に慣れ親しんだ後、学んだ表現を使って好きな季節と行事を伝え合う活動に取り組み、終末の活動で、日本の行事やその時にできることを発表する活動へ展開するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p>			

<p>使用上の配慮等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「世界の友達」(全学年)では、各国の小学生のメッセージを視聴し多様な文化や価値観に触れるなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ Unitの話題を自分のことに引き付ける「AboutYou」(全学年)や、巻末の「AllAboutMe」(全学年)を設けるなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 全ての児童にとって、読みやすいフォントとなるよう配慮したり(全学年)、識別しやすい配色を用いたり(全学年)するとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、各単元において、二次元コードを掲載し、アニメーションや音声を活用できるようにする(全学年)など、使用上の便宜が図られている。
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習者用デジタル教科書では、機械音声での読み上げや紙面の拡大表示などの機能を有している。

様式 3

番号 観点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
		61・啓林館	第5学年 第6学年	英語・517 英語・617
取扱内容（学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等）、内容の構成・排列	<p>○ 「聞くこと」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第5学年～ 誕生日にほしいものや行ってみたい国など、身近で簡単な事柄について、基本的な表現等を聞いて、理解した内容とイラスト等を結び付ける活動 第6学年～ 好きなものや行ってみたい部活動など、身近で簡単な事柄について、短い会話等をイラストなどを参考にしながら聞いて、必要な情報を得る活動</p> <p>○ 「読むこと」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第5学年～ アルファベットの名前を読むことを通して、活字体で書かれた文字の読み方を適切に発音する活動 第6学年～ 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現で書かれた将来の夢を伝える吹き出しのセリフなどを読んで、その意味を捉える活動</p> <p>○ 「話すこと [やり取り]」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第5学年～ 食べたいものや自分の家までの最短ルートについて互いに紹介するなど、自分の考えや気持ちを伝え合う活動 第6学年～ 自分の住む地域に係り、必要だと思うものをたずねたり、その理由を答えたりするなど、短い会話をする活動</p> <p>○ 「話すこと [発表]」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第5学年～ 日本の食べ物やアニメのキャラクターに関することなど、身近で簡単な事柄を話す活動 第6学年～ 簡単な語句や基本的な表現を用いて自分の懂れている人や小学校の思い出について、自分の考えや気持ちを話す活動</p> <p>○ 「書くこと」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第5学年～ 友だちができることなど、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句を書き写す活動 第6学年～ 印象に残ったできごとなど、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いた例を参考にして書く活動</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 第5学年～ 単元を見通した学習課題を設定し、行ってみたい国をたずねることや、一緒に行きたい国の魅力を伝えて友だちを誘うことなどを組み合わせることにより、考えを広げたり深めたりする活動 第6学年～ 単元を見通した学習課題を設定し、中学校で行ってみたいことをたずねることや、中学校を紹介してくれた人にお礼の手紙を書くことなどを組み合わせることにより、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 第5学年～ Unit 3において、1日の生活について聞く活動を通して、表現に慣れ親しんだ後、学んだ表現を使って家での仕事についてやり取りする活動に取り組み、終末の活動で、放課後の過ごし方について発表する活動へ展開するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 第6学年～ Unit 2において、季節ごとの日本の楽しみについて聞く活動を通して、表現に慣れ親しんだ後、学んだ表現を使って日本で楽しめるものを紹介し合う活動に取り組み、終末の活動で、日本の魅力を発表する活動へ展開するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p>			

使用上の配慮等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「FriendsaroundtheWorld」(全学年)では、世界の人々とのコミュニケーションに欠かせない異文化理解を促すなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 見通しをもって学習が進められるUnit全体のGOAL(全学年)や、巻末の「Can-DoList」(全学年)を設けるなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 全ての児童にとって、読みやすいフォントとなるよう配慮したり(全学年)、識別しやすい配色を用いたり(全学年)するとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、各単元において、二次元コードを掲載し、アニメーションや単語クイズを活用できるようにする(全学年)など、使用上の便宜が図られている。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習者用デジタル教科書では、紙面の読み上げや紙面の拡大表示などの機能を有している。

<外国語の具体的な調査項目>

◎調査項目

- ① 5領域別の活動数、ユニット数及び総ページ数
- ② 外国語活動及び中学校外国語との関連が図られている内容を取り上げているページ数
- ③ 北海道とかかわりのある内容を取り上げている資料等の数

◎調査項目にした理由

- ① 学習指導要領に示されている内容を適切に指導することが求められていることから、領域ごとや全体としての分量を把握する必要があるため。
- ② 外国語活動及び中学校外国語科における指導との接続に留意して、指導計画を適切に作成することが求められていることから、その取扱いについて把握する必要があるため。
- ③ 児童の興味・関心を生かした学習が促されるよう工夫することが求められていることから、北海道にかかわりのある内容の掲載の状況について把握する必要があるため。

様式5

※調査項目の数字が網掛けになっている項目は、様式6にデータを掲載していることを示す。

調査項目		発行者	東書		開隆堂		三省堂	
			5	6	5	6	5	6
①	5領域別の活動数、ユニット数及び総ページ数	聞くこと	54	73	53	52	41	41
		読むこと	13	43	23	24	32	31
		話すこと [やり取り]	68	51	47	49	47	44
		話すこと [発表]	7	11	9	7	25	27
		書くこと	48	48	24	24	26	24
		ユニット数	8	8	8	8	7	7
		総ページ数	106	106	138	138	122	122
		※ () は別冊	(50)		(34)	(34)	(50)	
		前回の総ページ数	106	106	142	150	142	138
	増減	0%	0%	-3%	-8%	-14%	-12%	
②	外国語活動及び中学校外国語との関連が図られている内容を取り上げているページ数	18 (2)	27	2	10	41	32	
③	北海道とかかわりのある内容を取り上げている資料等の箇所数	6 (2)	0	4	3	3	2	

調査項目		発行者	教出		光村		啓林館	
			5	6	5	6	5	6
①	5領域別の活動数、ユニット数及び総ページ数	聞くこと	28	18	66	63	100	100
		読むこと	6	16	27	30	21	22
		話すこと [やり取り]	21	14	16	13	32	24
		話すこと [発表]	7	7	11	15	18	26
		書くこと	7	16	22	28	15	30
		ユニット数	9	8	8	8	8	8
		総ページ数	140	140	153	145	152	152
		※ () は別冊						
		前回の総ページ数	146	146	161	163	138	138
	増減	-4%	-4%	-5%	-11%	10%	10%	
②	外国語活動及び中学校外国語との関連が図られている内容を取り上げているページ数	6	13	2 (17)	15 (10)	52	72	
③	北海道とかかわりのある内容を取り上げている資料等の箇所数	21	5	3	4	1	6	

様式 6

様式 5 の調査項目③ [北海道とかかわりのある内容] の具体的な内容

者	学年	教科書の構成 (該当ページ)	取扱い方	タイトル・主な内容	
東書	5	Over the Horizon 日本探検 (P15)	写真	・民族共生象徴空間 (4枚)	
		Listen and Think (P74)	写真	・豊似湖	
		Let's Listen 1 (P76)	写真	・五稜郭	
	別冊	Map of Japan (P5)	写真	・Sapporo Snow Festival、ジンギスカン	
開隆堂	5	Story Time (P59)	写真	・スケート場 (北海道)	
		Story Time (P95)	写真	・スキー場 (北海道)	
		ローマ字表 (P124)	文字	・Hokkaido (北海道)	
		Japan Map (P127)	文字	・Hokkaido	
	6	Let's watch and Think 1 (P24)	写真	・雪まつり	
		Let's Try 2 (P52)	文字	・Hokkaido	
		ローマ字表 (P124)	文字	・Hokkaido (北海道)	
三省堂	5	おすすめの場所を紹介しよう (P80)	写真	・知床 (北海道)	
		Hello, World 日本、大発見 (P92)	語句	・Sapporo Snow Festival (さっぽろ雪まつり)、potatoes (じゃがいも)	
	6	Let's Talk (P27)	写真	・YOSAKOI ソーラン祭り、さっぽろ雪まつり	
教出	5	Let's Watch (P62)	写真	・石狩鍋、ラベンダー畑、ラベンダーソフト	
		Map(P69)	写真 イラスト	・Sapporo Snow Festival, Furano lavender fields, National Ainu Museu and Park(Upopoy) ・Hakodate Goryokaku Fort, Sapporo ramen, Hokkaido Ballpark, Asahiyama Zoo, traditional Ainu crafts, marimo, drift ice, seals in Shiretoko, tancho cranes, sea otters	
		Activity 1 (P70)	イラスト 文字	・地図 ・Hokkaido	
		Think (P79)	イラスト 写真	・キュンちゃん ・ほたて	
		ローマ字表 (P116)	文字	・Hokkaido (北海道)	
	6	Let's Watch (P20)	写真	・雪まつり、ラーメン、動物園	
		Activity 1 (P34)	文字	・Asahikawa Winter Festival	
		ローマ字表 (P108)	文字	・Hokkaido (北海道)	
	光村	5	I C Tを活用しよう (P89)	写真	・北海道の小学校の例
			You can do it! (P101)	写真	・Upopoy
ローマ字表			文字	・Hokkaido	
6		Let's listen (P26)	写真	・Sapporo Snow Festival	
		Let's listen (P28)	写真	・Sapporo Snow Festival	
		I C Tを活用しよう (P61)	写真	・北海道の小学校の例	
		ローマ字表	文字	・Hokkaido	

啓 林 館	5	ヘボン式ローマ字表 (P10)	文字	・ Sapporo (札幌)
	6	Introduction (P25)	イラスト	・ さっぽろ雪まつり
		伝えよう 日本のみりよく (P27)	写真	・ ジンギスカン
		Listen and Do 1 (P30)	イラスト	・ 北海道、さっぽろ雪まつり、すし
		ヘボン式ローマ字表 (P132)	文字	・ Sapporo (札幌)